

# 2019年度 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム 「あさひかわオープンカレッジ」のご案内

共催：旭川市教育委員会

日時：2019年9月14日～11月23日まで、全6回開催します。

場所：フィール旭川7階 講義室

(日によって時間・場所が変わります。裏面へ記載)

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会とが連携し、市民のための公開講座を開催します。(資料代として各1講座、500円いただきます。ただし、学生・生徒は無料です。) なお、手話通訳が必要な方は、早めにお申込みの上その旨お伝えください。

◎8月15日(木) 募集開始

テーマ「旭川のまちづくり・ひとづくり」

9月14日(土) 「地域間格差問題と地域再生の課題  
—医療・福祉の先端都市を目指して—」  
講師：旭川大学短期大学部 教授 北島 滋

10月10日(木) 「検診と臨床検査でわかること」  
講師：旭川医科大学 教授 藤井 聡

10月12日(土) 「旭川市における『まちなか居住』を考える」  
講師：旭川大学 教授 松岡 昌則

10月25日(金) 「体温調節～寒さにも暑さにも強くなる身体をつくるために～」  
講師：名寄市立大学 名誉教授 八幡 剛浩  
【旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター】

11月 2日(土) 「高等教育における発達障害」  
講師：北海道教育大学旭川校 准教授 蔦森 英史

11月23日(土) 「ものづくり・ひとづくり・いものづくり」  
講師：旭川工業高等専門学校 教授 堀川 紀孝

※ 講師の都合により、内容等が変更になる場合があります。

[お申込み・お問合せ]

一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

TEL&FAX 0166-26-0338

Mail [awbcns2013@gmail.com](mailto:awbcns2013@gmail.com)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるよう様々な活動を行っております。本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなくともに地域の課題を考え、地域づくりに取組む契機となることを目指しております。お気軽に参加ください。（興味のある講座だけでも受講できます。）

**定 員：各講座 30名**

**募 集 開 始：8月15日（木）から  
（道民カレッジ連携講座です。）**

**講義概要 9/14（土）（シニア大学講座室） 13：00～15：00**

### **「地域間格差問題と地域再生の課題 ——医療・福祉の先端都市を目指して——」**

1983年、旭川市と栃木県宇都宮市の人口は約36万人でほぼ同じであった。2019年4月の旭川市の人口は335,323人、宇都宮市の人口は519,629人、その差184,306人。人口が多くなればよいというわけではないが、東京から100kmの距離にある宇都宮市と、約1000kmにある旭川市との地理上の違いだけなのか。高専を含めると4つの大学を抱える旭川市が地域再生の人材育成に失敗したのか。その点を含めて考えてみたい。

**10/10（木）（共用会議室1） 14：00～16：00**

### **「検診と臨床検査でわかること」**

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は症状がなくても心筋梗塞や脳卒中など重大な病気につながります。検診は症状がない時期の早期発見のため欠かせません。血液検査などで得られた結果を正しく理解して自分の状態の正確な知識を持ちましょう。検査を生活に活かすことは健康を維持するために役立ちます。

**10/12（土）（シニア大学講座室） 13：00～15：00**

### **「旭川市における『まちなか居住』を考える」**

多くの都市で中心部の空洞化が進行し、中心市街地の活性化が模索されている。その一つとして、まちなか居住の推進や、CCRC（Continuing Care Retirement Community）の構想が提起される。そのためには生活機能の適正な配置と付帯施設の充実が求められる。本報告では、旭川市の中央地区と銀座地区を中心に、検証してみたい。

**10/25（金）（共用会議室2） 14：00～16：00**

### **「体温調節 ～寒さにも暑さにも強くなる身体をつくるために～」**

寒冷地旭川で健康に暮らすには寒さに強い身体を作る必要があります。しかし、近年の地球温暖化によって北海道でも熱中症が発症し、暑さへの対策も求められるようになって来ています。今回は、体温を一定に保つ身体の仕組み、発熱と熱中症の違い、熱中症の対策について説明し、加えて寒さにも暑さにも強くなる可能性について考えます。

**11/2（土）（シニア大学講座室） 13：00～15：00**

### **「高等教育における発達障害」**

高等教育への進学率が高まる中、学習面や生活面で困難を感じる学生へのサポートが重要になってきています。しかしながら、学生が困っていても友人や教員に中々相談できずに、自分で抱え込んでしまうというケースも少なくありません。全国的には学生支援相談室が設置されています。今回はその活用方法や大学内での連携の取り方などについて触れたいと思います。

**11/23（土）（シニア大学講座室） 13：00～15：00**

### **「ものづくり・ひとつづくり・いものづくり」**

現代につながるものづくりの歴史は、鑄造から始まったと言っても良い。鑄物の歴史からものづくりの現状まで解説するとともに、ものづくりに携わる人材の教育、すなわちひとつづくりについても紹介します。講座の後半には実際に鑄造の体験をしていただく予定です。